

決算説明資料

2016年3月期第3四半期



Listed Company 4241

2016年02月
株式会社アテクト

第3四半期業績概要

●第3四半期累計(単位:百万円)

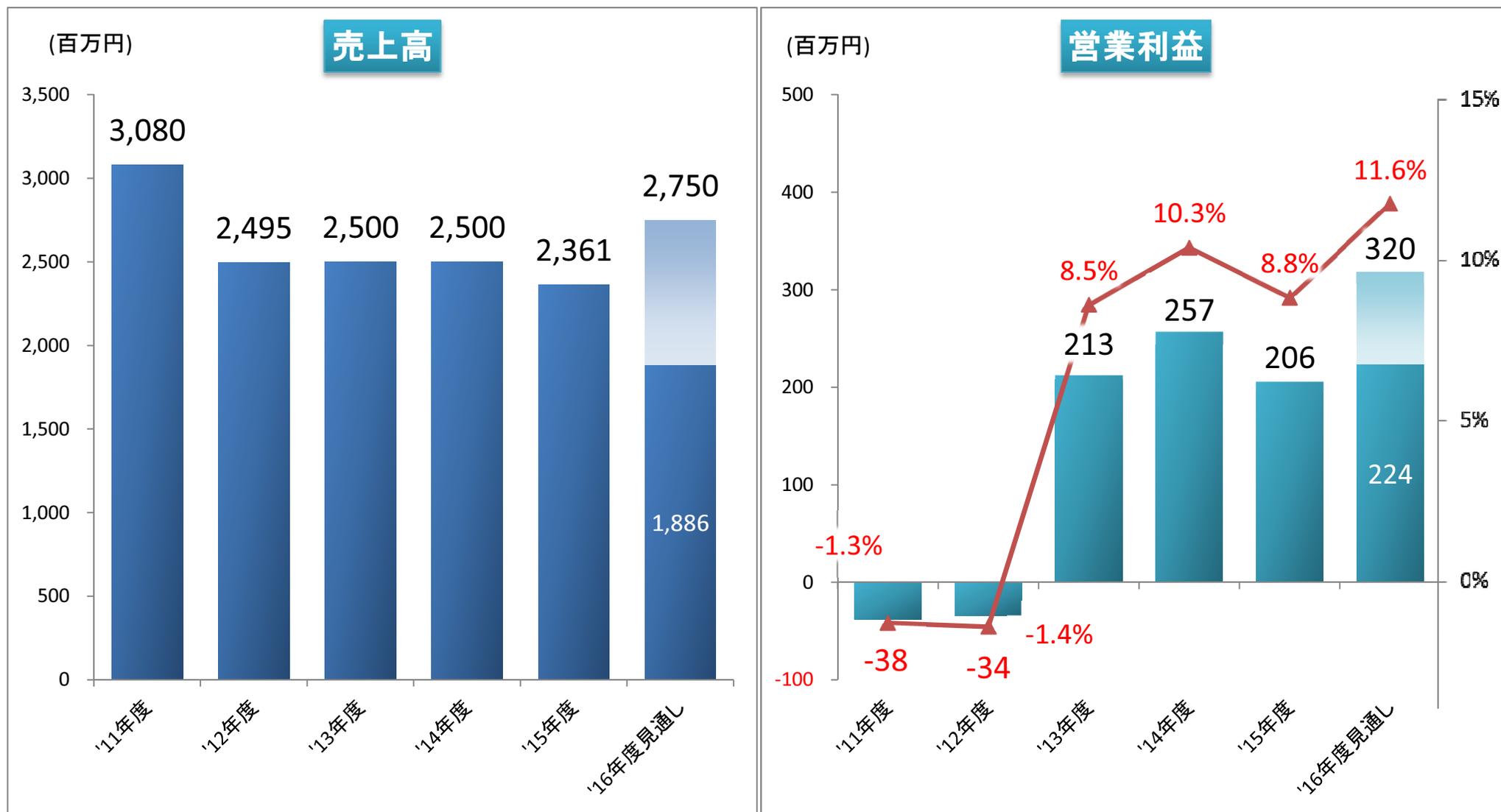
	2015年3月期 第3四半期 (2014.04~2014.12)	2016年3月期 第3四半期 (2015.04~2015.12)	増減額	増減率
売上高	1,792	1,886	93	5.2%
営業利益	164	224	59	36.2%
経常利益	212	172	-40	-19.0%
四半期純利益	121	118	-3	-2.8%

●連結営業利益224百万円(営業利益率11.8%) 上場以来過去最高

●全セグメントにおいて増収・増益

※当第2四半期に計上した、円高、ウォン安・台湾ドル安による預金等外貨建資産の換算に伴う未実現為替評価損等59百万円は、一部資産の日本円への転換と当第3四半期期末レート適用により、累計評価損等は36百万円まで縮小致しましたが、本為替評価損等の影響による経常利益の減益により、四半期純利益はやや減益となりました。

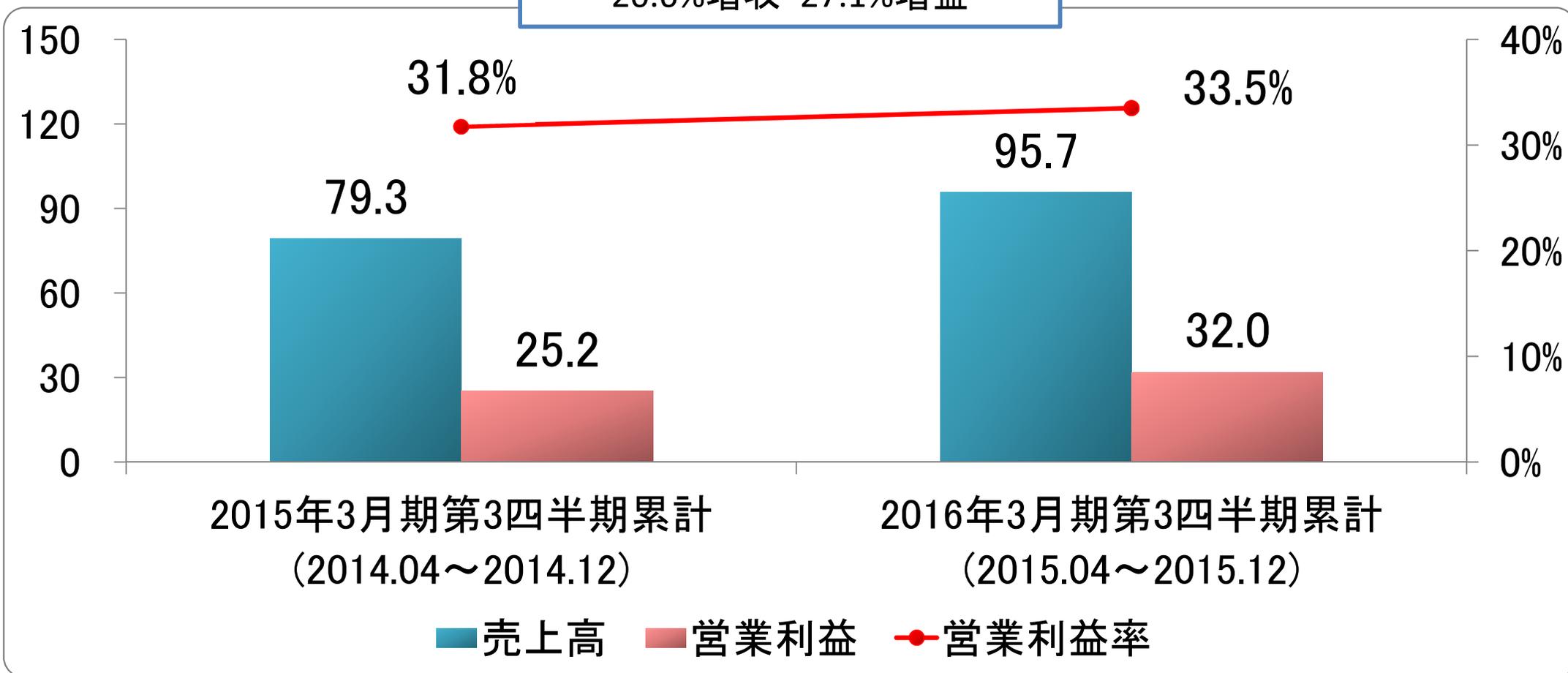
売上高・営業利益推移及び見通し(3Q業績進捗)



通期営業利益においても4期連続の高収益、過去最高を目指します。

セグメント別業績：PIM事業

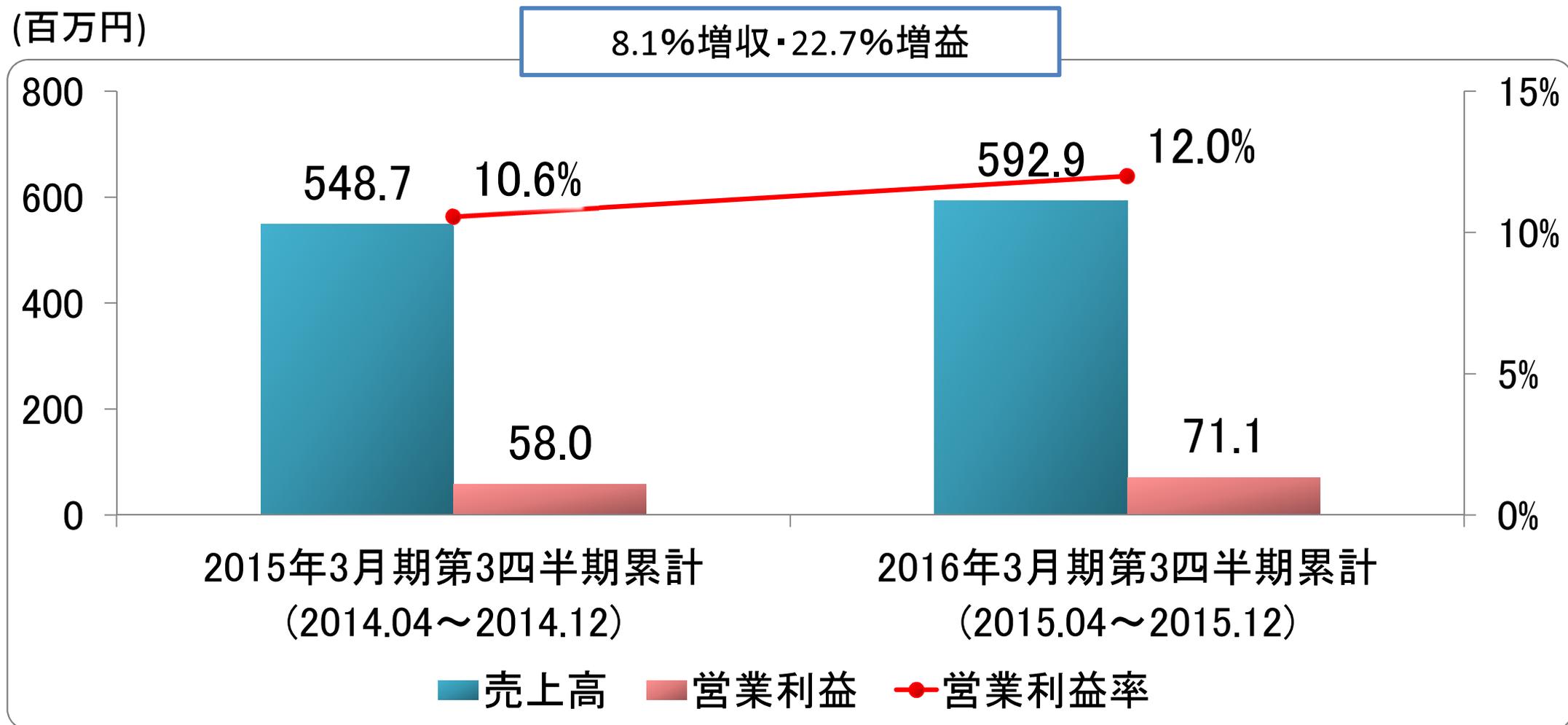
(百万円)



従来の材料販売に加え、光学用デバイス部品の製造販売が堅調であったことに加え、5案件の製品化前の試作金型、試作品製作の受注により、売上高、営業利益共に過去最高を更新しました。

セグメント別業績：半導体資材事業

(百万円)

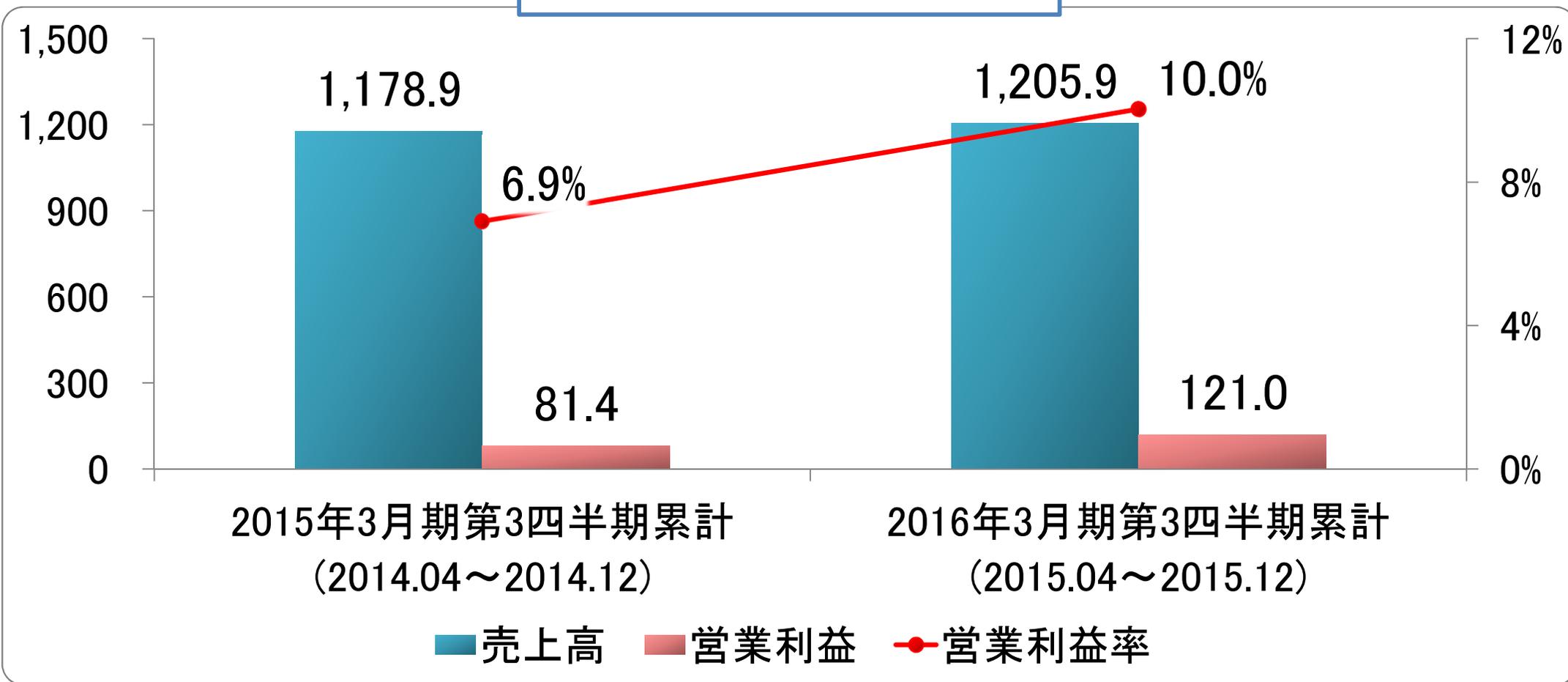


中国経済の失速の中、従来製品の売上減をローエンド向け新スペーサーテープ及び初の携帯電話用スペーサーテープの採用により、増収、増益となりました。

セグメント別業績：衛生検査器材事業

(百万円)

2.3%増収・48.6%増益



第3四半期累計としては、過去最高の売上となりました。シャーレ製品については原材料費の下落及び初の24時間30日稼働による固定費の圧縮。培地製品については生産変革活動による原価低減により、総利益率60.3%(5.8%増)とグループで群を抜く高収益製品となりました。

47期重点施策(3Q進捗)

PIM事業

- **材料・製品(焼結品)・金型(製品及び試作)・試作品(焼結品)の4カテゴリの中で製品、試作金型、試作品の受注急増により、過去最高の売上高・営業利益**
 - ・カメラ用パーツ:2メーカー、2アイテムの焼結品量産継続中
 - ・新アイテム:セラミックス製釣具部品の製造開始、4Qより本格的に量産
 - ・セラミックスボールベアリング:ジルコニア製空調用ベアリングの試作中(最終段階)
 - ・ターボ関連部品:海外大手ターボチャージャーメーカーとの開発契約(NDA)締結後、特殊材料(脱インコネル)選定完了し、4Qには第1回試作品完成予定
 - ・TS16949進捗:LOC(適合書簡紙)第二次審査終了⇒2016年3月LOC取得予定

半導体資材事業

- **中国経済の失速により、計画受注未達となる中、新製品投入で新規受注獲得**
 - ・4Kテレビ対応高品質スペーサーによるシェア拡大、
 - ・新導電性ポリマー(ポリチオフェン)スペーサーの韓国生産販売開始
 - ・携帯電話用スペーサーに初採用

衛生検査器材事業

- **売上高過去最高、シャーレ・培地双方で大幅な原価低減**
 - ・シャーレ:ポリスチレン材価格下落、償却費減、初の24時間30日フル稼働体制など全経費の削減による収益拡大
 - ・培地:自動化、IT化、歩留まり100%による生産変革活動により、総利益率54.5%⇒60.3%に向上

今後の事業展開と 具体的施策

守りから攻めへ⇒拡大・成長路線へ

- PIM事業：焼結品生産販売を本格化
- 半導体資材事業：4Kテレビによる伸長と品質改善によるシェア拡大
- 衛生検査器材事業：検査試薬事業を吸収、シナジー効果による継続的成長

経営資源の増強

人：即戦力となる中途採用者を全部門で大幅に補強し、PIM事業を中心とした将来の現場力強化のための新卒者の継続的採用

モノ：拡大成長に向けた増産増設投資、自動化、IT化による原価低減など積極的設備投資

拡大成長戦略(各セグメント別売上イメージ)

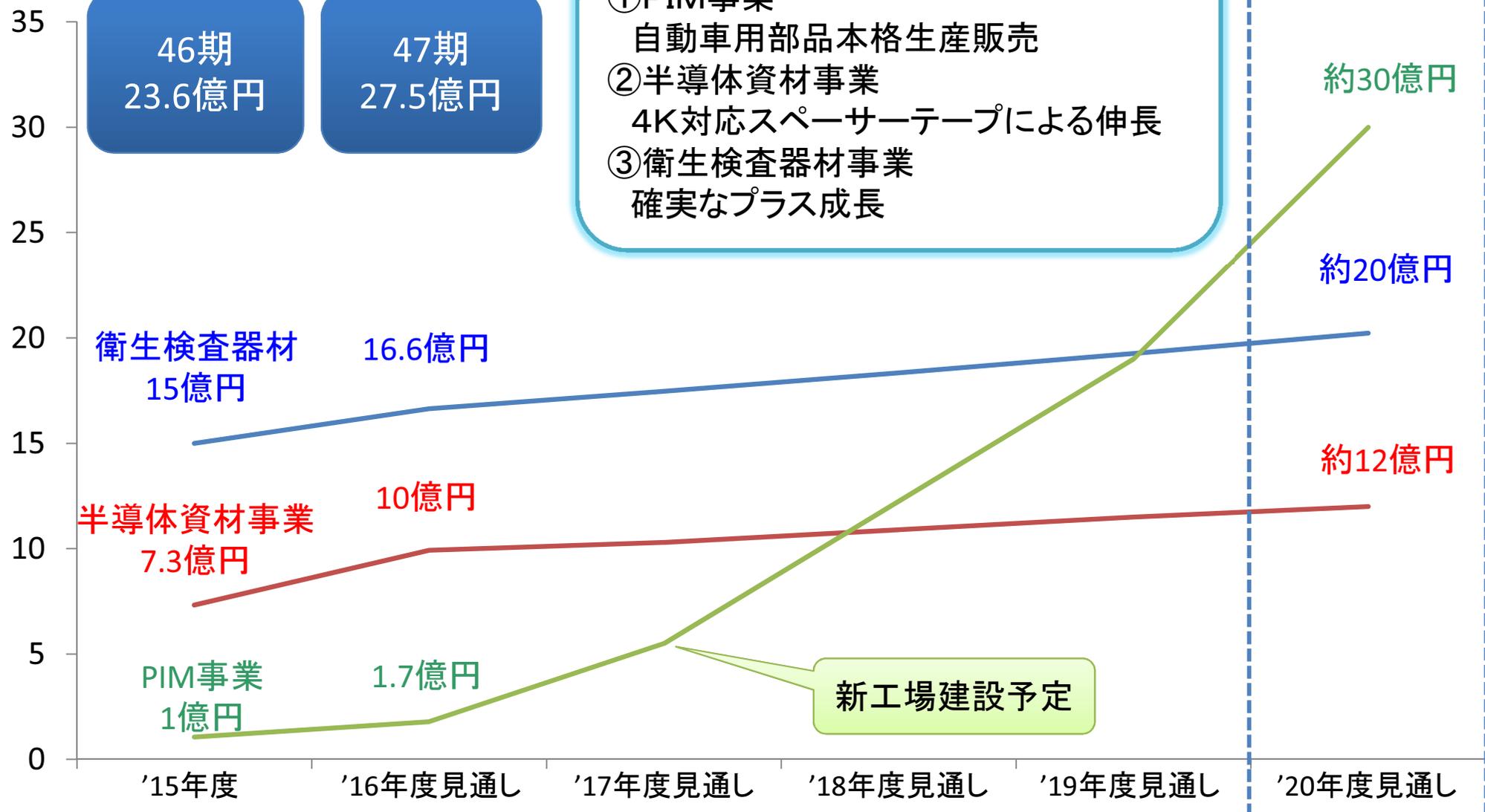
(億円)

46期
23.6億円

47期
27.5億円

- ①PIM事業
自動車用部品本格生産販売
- ②半導体資材事業
4K対応スパーサーテープによる伸長
- ③衛生検査器材事業
確実なプラス成長

ターゲット



新工場建設予定

PIM設備投資進捗

半導体資材事業、衛生検査器材事業の生産変革活動による活スペース化でPIM工場の再編が可能となり、現本社工場で可能な限りの生産規模拡大に努めて参ります。

成形工程



焼結工程



ダイヤモンドに次ぐ硬度を持つ B_4C (炭化ホウ素)用焼結炉を発注(2016年6月導入)致しました。これにより今期導入の新規炉を含め計5ラインの真空焼結炉の整備が完了します。
※更に来期(48期)にはもう一段の工場再編を実行し、生産規模拡大投資を実施予定です。

PIM事業の製品カテゴリー

～材料(設計製造)・金型(設計製造)・射出成型・加熱脱脂焼結 全プロセス有するアテクトならではの事業展開～

バインダー

FS



コンピートしない市場への販売

材料

変形が無く高密度
(高付加価値部品用)

複雑形状焼結品

従来の機械加工からの置換

カメラ部品



潜在需要掘り起こし

アテクトPIM

自動車部品

- ・ターボ関連部品
- ・パワーデバイス用部品

チタン合金

ノズルベーン



重量比:56%

インコネル製

軽量高硬度部品

ベアリング・摺動部品

純チタン・チタン合金

軽量・耐蝕

PIM工法初のセラミックス
ボールベアリング



世界初B₄Cボール



ヒートシンク



●ヒートシンク

- ・AlN(240W/mk)
- ・Si₃N₄(100W/mk)

●ターボ関連部品

- ・脱ロストワックス⇒製造コスト減
- ・ターボラグ低減⇒新材料
ex.チタン合金

硬球(SUS)

Si₃N₄

B₄C

重量比:100%

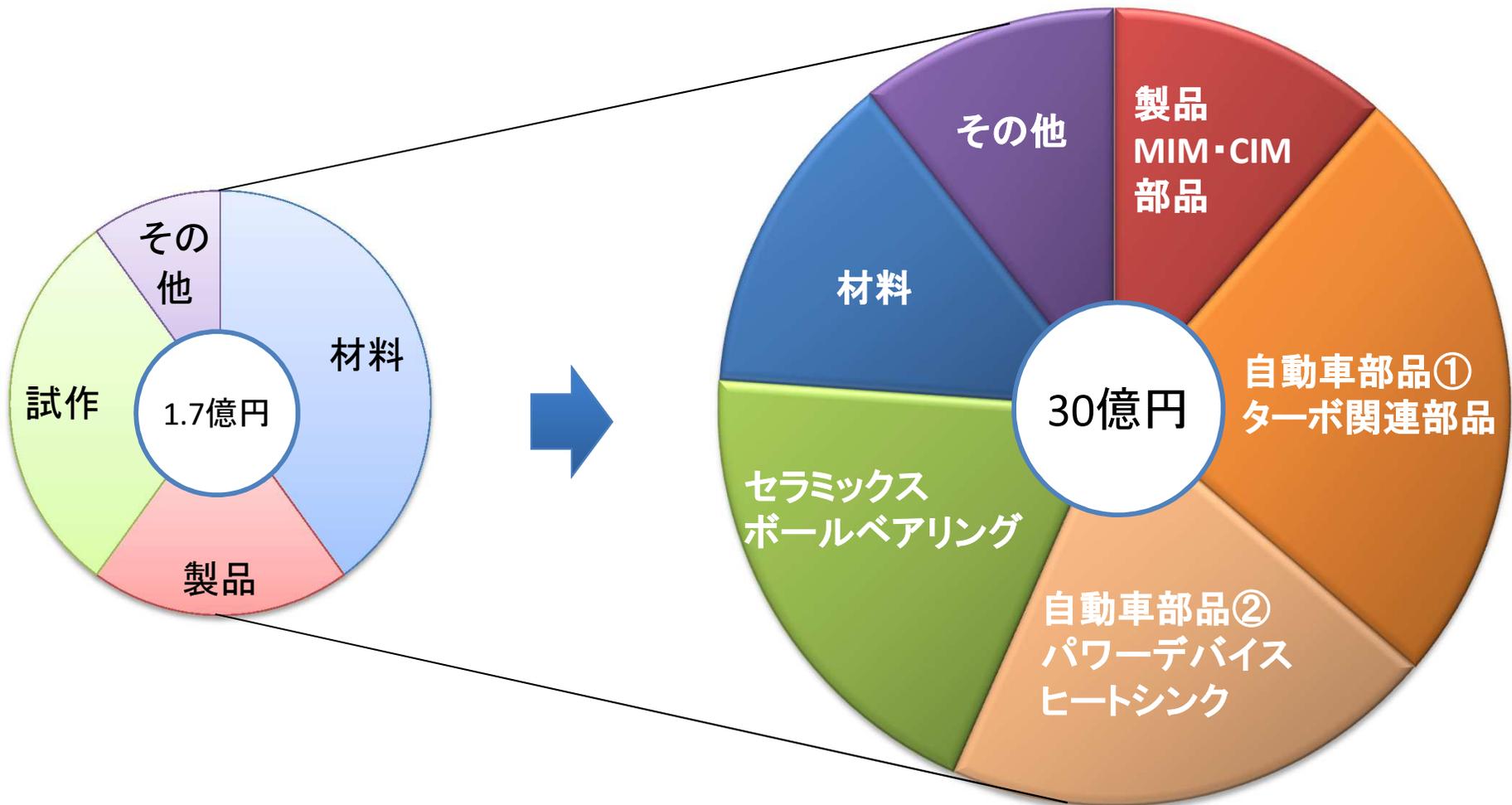
> 重量比:41%

> 重量比:32%

PIM事業拡大イメージ

2016年度3月期見込

2020年目標



PIM事業を中心に拡大・成長に努めて参ります！

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 事業管理部IR担当

TEL:072-967-7000

E-mail:ir@atect.co.jp